

平成20年度決算の概要

※以下文面における金額は「万円単位」に端数調整してあります。

(1) 資金収支計算書について

平成20年度資金収入は、平成20年度予算比(以下「予算比」という。)28億1,225万円増の613億718万円であり、これに前年度繰越支払資金352億5,783万円を加えた収入の部合計は、予算比28億1,225万円増の965億6,501万円です。
これに対して資金支出は、予算比6,673万円増の586億7,978万円であったので、次年度繰越支払資金は、予算比27億4,552万円増の378億3,523万円となり、支出の部合計は、965億6,501万円です。

資金収支計算書

[平成20年4月 1日から
平成21年3月31日まで]

＜収入の部＞		(単位:円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
東京理科大学・山口東京理科大学、諏訪東京理科大学の学生から納入された学費などです。	学生生徒等納付金収入	25,869,613,000	26,456,729,150	△ 587,116,150
	手数料収入	1,489,290,000	1,703,207,280	△ 213,917,280
	寄付金収入	675,000,000	438,494,477	236,505,523
文部科学省から交付される経常費補助金、研究設備整備費等補助金、大学改革推進等補助金などです。	補助金収入	4,032,031,000	4,180,294,789	△ 148,263,789
	資産運用収入	568,632,000	525,535,881	43,096,119
国などの公的機関・民間企業との受託研究契約・共同研究契約に基づく収入などです。	資産売却収入	0	2,000,105,386	△ 2,000,105,386
	事業収入	1,412,390,000	1,283,300,064	129,089,936
	雑収入	1,066,624,000	914,276,914	152,347,086
葛飾キャンパス校地取得のための借入金です。	借入金等収入	13,800,000,000	13,800,000,000	0
	前受金収入	17,246,255,000	17,214,937,428	31,317,572
平成20年度に納入された在学生・新入学生の平成21年度分の学費などです。	その他の収入	10,630,101,000	10,998,478,715	△ 368,377,715
	資金収入調整勘定	△ 18,295,003,000	△ 18,208,174,939	△ 86,828,061
平成19年度に納入された平成20年度学費などですので、収入の部から差し引きます。	前年度繰越支払資金	35,257,827,821	35,257,827,821	
	収入の部合計	93,752,760,821	96,565,012,966	2,812,252,145

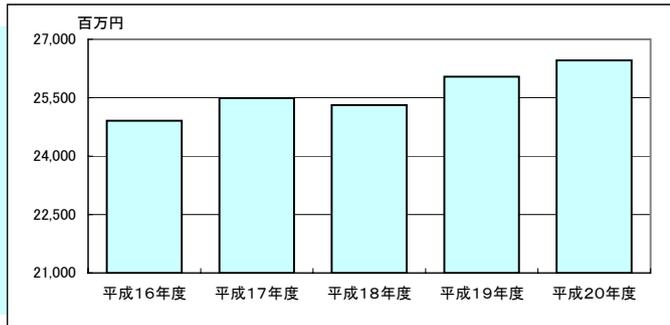
＜支出の部＞		(単位:円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
教育・研究活動に要する経費です。	人件費支出	16,192,703,000	16,178,623,871	14,079,129
	教育研究経費支出	9,103,288,000	8,656,548,580	446,739,420
法人の管理運営・学生募集に要する経費です。	管理経費支出	1,970,444,000	1,861,738,173	108,705,827
	借入金等利息支出	94,097,000	82,149,233	11,947,767
	借入金等返済支出	1,483,160,000	1,483,160,000	0
土地、建物(附属設備も含む)、構築物など、施設を取得するための支出です。	施設関係支出	16,249,911,000	14,783,470,302	1,466,440,698
	設備関係支出	2,028,555,000	1,746,152,436	282,402,564
	資産運用支出	10,253,408,000	12,977,129,264	△ 2,723,721,264
	その他の支出	2,537,439,000	2,430,722,151	106,716,849
	[予備費]	(270,000,000)		
		30,000,000		30,000,000
平成20年度末までに支払の完了しなかった未払金などですので、支出の部から差し引きます。	資金支出調整勘定	△ 1,329,947,000	△ 1,519,907,681	189,960,681
	次年度繰越支払資金	35,139,702,821	37,885,226,637	△ 2,745,523,816
	支出の部合計	93,752,760,821	96,565,012,966	△ 2,812,252,145

<収入の部>

学生生徒等納付金収入(264億5,673万円)は、授業料、入学金、実験実習料、及び施設設備資金です。大学別の内訳は次のとおりです。

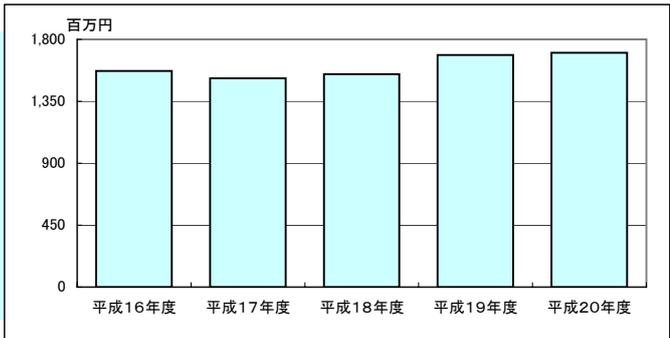
東京理科大学	247億2,816万円
山口東京理科大学	5億4,050万円
諏訪東京理科大学	11億8,807万円

右表は直近5年の学生生徒等納付金収入の推移です。



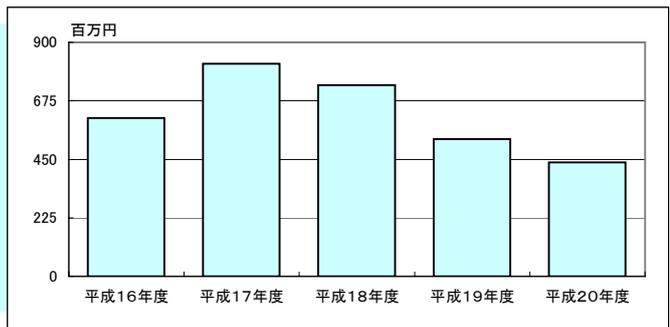
手数料収入(17億321万円)は、入学検定料、試験料、証明手数料、及び大学入試センター試験実施手数料です。

右表は直近5年の手数料収入の推移です。



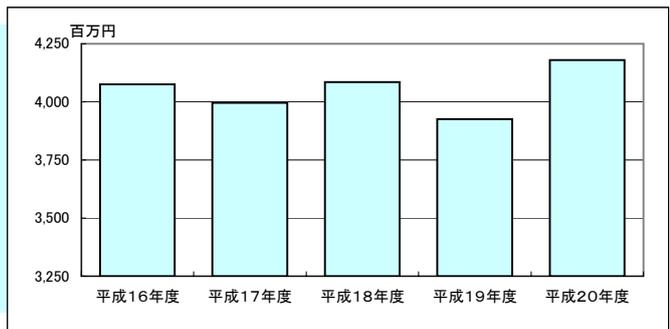
寄付金収入(4億3,849万円)は、一般寄付金及び特別寄付金です。一般寄付金は企業等からの研究助成金や学生の父母、教職員卒業生からの寄付金などです。特別寄付金は、創立125周年の記念事業に充当するための寄付金です。

右表は直近5年の寄付金収入の推移です。平成18年度が創立125周年であったことから、平成17、18年度の特別寄付金収入が増加しました。



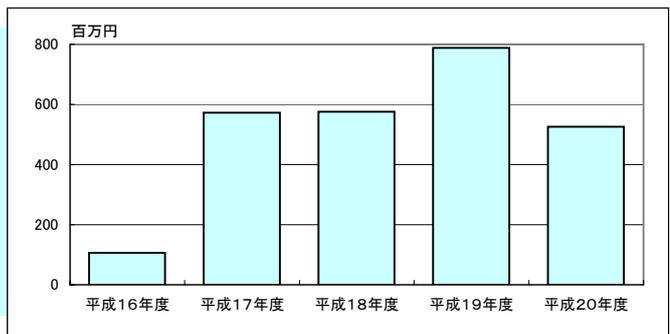
補助金収入(41億8,029万円)は、国庫補助金、地方公共団体補助金、学術研究振興資金、及びその他の補助金です。例年、国庫補助金として計上される経常費補助金が大部分を占めています。

右表は直近5年の補助金収入の推移です。平成20年度は特色GP等の大学改革推進等補助金などが増加したことにより、補助金収入が増加しました。



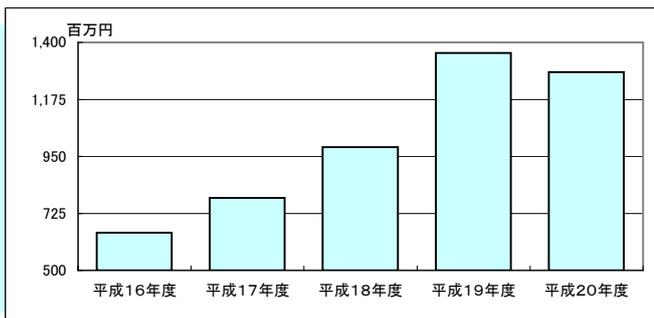
資産運用収入(5億2,554万円)は、第3号基本基金運用収入、受取利息・配当金収入、及び施設設備利用料収入です。

右表は直近5年の資産運用収入の推移です。平成17年度から本格的に運用を始めたことにより、資産運用収入は大幅に増加しています。平成20年度は世界金融危機の影響で資産運用収入が減少しました。



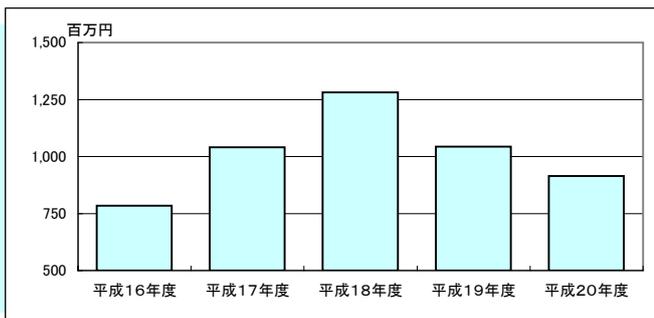
事業収入(12億8,330万円)は、補助活動収入、受託事業収入、知的財産権実施料等収入、及び公開講座受講料収入です。

右表は直近5年の事業収入の推移です。受託研究・共同研究の契約件数が毎年増加していることに比例して、事業収入も年々増加していましたが、平成20年度は減少しました。



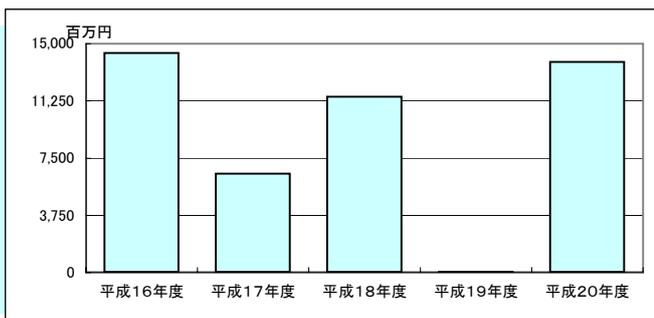
雑収入(9億1,428万円)は、入学要項売上収入、私立大学退職金財団交付金収入、及びその他の雑収入です。

右表は直近5年の雑収入の推移です。



借入金等収入(138億円)は、長期借入金収入です。

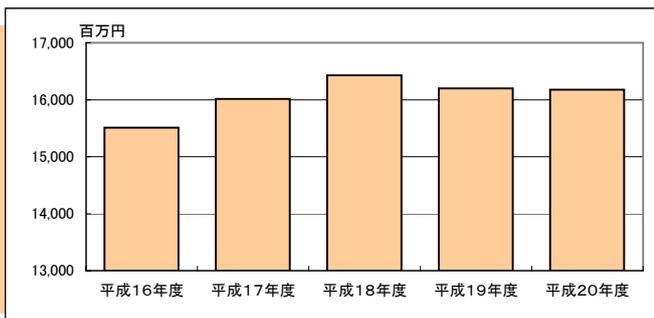
右表は直近5年の借入金等収入の推移です。平成16年度は九段校舎購入資金の借入れ、平成17、18年度は借入金の借り換え、平成20年度は葛飾キャンパスの土地購入資金の借入れです。



<支出の部>

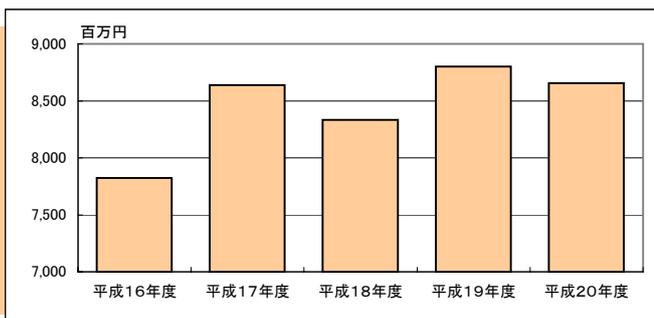
人件費支出(161億7,862万円)は、教員人件費、職員人件費、役員報酬支出、及び退職金支出です。

右表は直近5年の人件費支出の推移です。



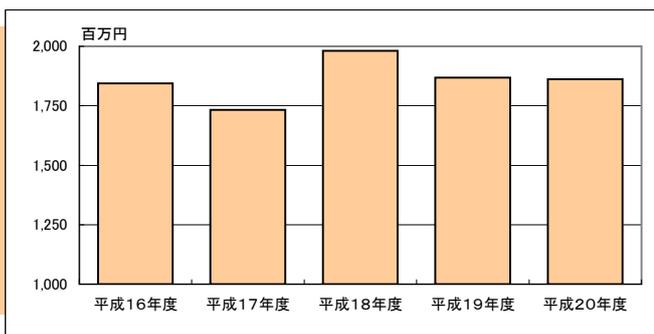
教育研究経費支出(86億5,655万円)は、消耗品費支出、旅費交通費支出など教育・研究活動に要する経費です。

右表は直近5年の教育研究経費支出の推移です。



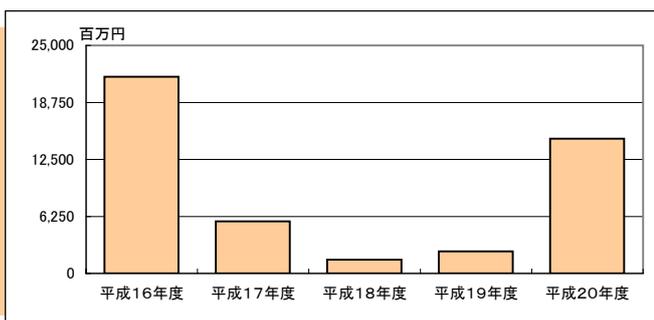
管理経費支出(18億6,174万円)は、法人の管理運営教育・学生募集活動に要する経費です。

右表は直近5年の管理経費支出の推移です。



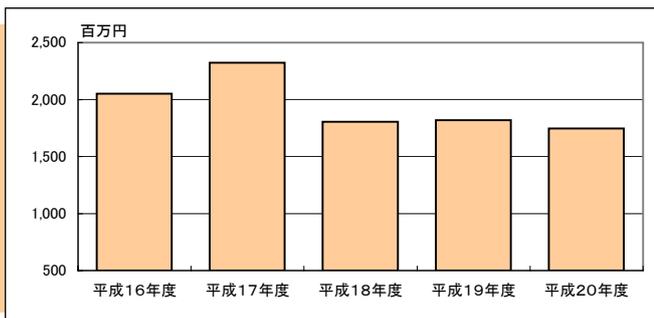
施設関係支出(147億8,347万円)は、大学として使用する土地、建物(附属設備も含む)、構築物など、施設を取得するための支出です。

右表は直近5年の施設関係支出の推移です。平成16年度は神楽坂地区再構築の一部として九段校舎を購入したことなどにより、例年と比べ支出が多くなりました。平成20年度は葛飾キャンパス校地取得のため増加しています。



設備関係支出(17億4,615万円)は、大学として使用する備品、図書、車輛などの取得にかかる支出です。

右表は直近5年の設備関係支出の推移です。



資金収支計算書は、教育研究等の諸活動に要する一年間の資金の収入、支出をみるもので、支出に対応する収入がどのような源泉から調達されているかをみることができます。また、借入金などの負債性のある収入や、固定資産取得に必要な支出、借入金返済などが全体の収支にどのような役割を果たしているかなどもみることができます。



(2) 消費収支計算書について

平成20年度帰属収入合計は、予算比6億3,774万円増の359億5,132万円です。これから基本金組入額18億7,647万円を差し引いた本年度の消費収入は、予算比29億1,771万円増の340億7,485万円です。

これに対して消費支出は、予算比3億512万円減の321億9,919万円です。

この結果、平成20年度の消費収支差額は18億7,566万円の収入超過となり、平成19年度から繰り越されてきた消費支出超過額100億5,945万円を加えると、平成21年度への繰越消費支出超過額は81億8,379万円となります。

消費収支計算書

〔平成20年4月1日から
平成21年3月31日まで〕

〈消費収入の部〉 (単位:円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	25,869,613,000	26,456,729,150	△ 587,116,150
手数料	1,489,290,000	1,703,207,280	△ 213,917,280
寄付金	875,000,000	887,826,316	△ 12,826,316
補助金	4,032,031,000	4,180,294,789	△ 148,263,789
資産運用収入	568,632,000	522,244,769	46,387,231
資産売却差額	0	3,769	△ 3,769
事業収入	1,412,390,000	1,283,300,064	129,089,936
雑収入	1,066,624,000	917,712,727	148,911,273
帰属収入合計	35,313,580,000	35,951,318,864	△ 637,738,864
基本金組入額合計	△ 4,156,440,000	△ 1,876,470,634	△ 2,279,969,366
消費収入の部合計	31,157,140,000	34,074,848,230	△ 2,917,708,230

一般寄付金および特別寄付金に加え、科学研究費補助金等により購入した機器備品および寄贈された物品である現物寄付金が含まれます。

学校法人が教育研究活動等の諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持するべきものとして帰属収入から組入れた金額のことです。

教職員の退職金に備えるための退職給与引当金への当年度繰入額が含まれます。

減価償却額が含まれます。

減価償却額が含まれます。

不用となった固定資産を廃棄除却したものなどです。

奨学貸付金などで徴収不能のおそれがあるものです。

消費収入の部合計から消費支出の部合計を差し引いた額です。一般的に収支均衡(収支差額=0)が望ましいとされています。

〈消費支出の部〉 (単位:円)

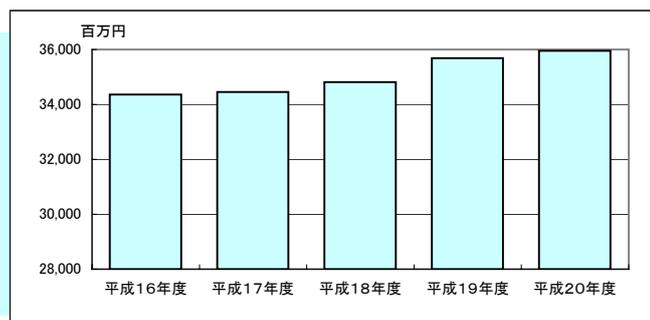
科目	予算	決算	差異
人件費	16,417,516,000	15,989,388,165	428,127,835
教育研究経費	13,811,892,000	13,304,585,813	507,306,187
管理経費	2,083,042,000	1,959,088,629	123,953,371
借入金等利息	94,097,000	82,149,233	11,947,767
資産処分差額	7,758,000	863,338,732	△ 855,580,732
徴収不能引当金繰入額(又は徴収不能額)	0	636,000	△ 636,000
[予備費]	(210,000,000)		
	90,000,000		90,000,000
消費支出の部合計	32,504,305,000	32,199,186,572	305,118,428

当年度消費収入超過額	0	1,875,661,658	
当年度消費支出超過額	1,347,165,000	0	
前年度繰越消費支出超過額	10,059,452,754	10,059,452,754	
翌年度繰越消費支出超過額	11,406,617,754	8,183,791,096	

〈帰属収入〉

帰属収入(359億5,132万円)は、学校法人の負債とならない収入で、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、資産運用収入、事業収入、雑収入などです。

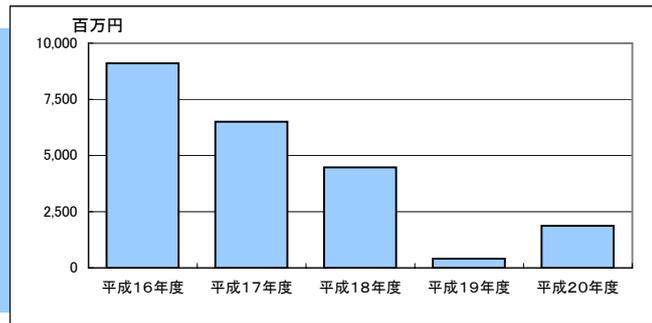
右表は直近5年の帰属収入の推移です。



〈基本金組入額〉

基本金組入額(18億7,647万円)は、学校法人が教育研究活動等の諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして帰属収入から組入れた金額のことです。

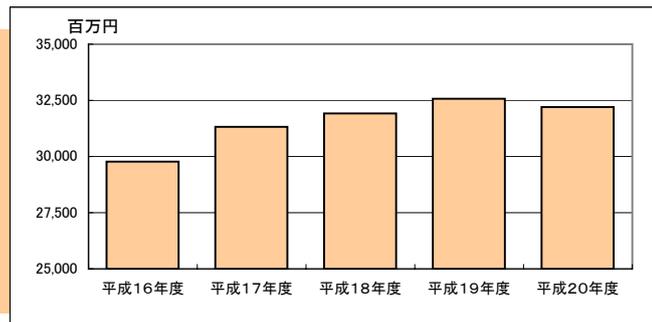
右表は直近5年の基本金組入額の推移です。平成16年度は神楽坂地区再構築の一部として九段校舎を購入したことなどにより、例年と比べ組入額が多くなりました。また、平成19年度は、機器備品、図書の除却額が多かったことにより組入額が少なくなりました。



〈消費支出〉

消費支出(321億9,919万円)は、教育研究その他の諸活動に対応した費用の支出を示したもので、人件費、教育研究経費、管理経費などです。

右表は直近5年の消費支出の推移です。



消費収支計算書は、毎年度の経営状況を示すものです。「消費支出」とは、学校法人が教育研究等の諸活動に消費する資産の取得価額または用役の対価のことであり、「消費収入」とは、「消費支出」に充当し得る収入のことであり、負債性のない収入(帰属収入)から資本的支出(基本金組入額)を控除したものをいいます。「消費収入」と「消費支出」を対比することにより、収入超過か支出超過かがわかります。



(3) 貸借対照表について

平成20年度末の資産総額は、前年度末比152億569万円増の1,880億2,595万円です。また、負債総額は、前年度末比114億5,356万円増の427億1,303万円です。

資産の部は、固定資産が前年度末比124億3,307万円増の1,486億1,794万円であり、流動資産が前年度末比27億7,261万円増の394億801万円です。その結果、固定資産構成比率は79%であり、流動資産構成比率は21%です。

負債の部は、長期借入金が前年度末比123億1,684万円増の196億2,410万円です。その結果、固定負債は前年度比120億9,037万円増の222億9,472万円であり、固定負債構成比率は11.9%です。また、流動負債は前年度比6億3,681万円減の204億1,831万円であり、流動負債構成比率は10.9%です。

基本金の部は、前年度末比18億7,647万円増の1,534億9,671万円であり、このほかに未組入額が213億1,365万円あります。

消費収支差額の部は、翌年度繰越消費支出超過額が前年度比18億7,566万円減の81億8,379万円です。

貸借対照表

平成21年3月31日

(単位:円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	148,617,943,930	136,184,869,417	12,433,074,513
有形固定資産	122,325,591,578	110,475,848,764	11,849,742,814
その他の固定資産	26,292,352,352	25,709,020,653	583,331,699
流 動 資 産	39,408,007,269	36,635,392,339	2,772,614,930
資 産 の 部 合 計	188,025,951,199	172,820,261,756	15,205,689,443
固 定 負 債	22,294,721,964	10,204,350,355	12,090,371,609
流 動 負 債	20,418,309,432	21,055,123,890	△ 636,814,458
負 債 の 部 合 計	42,713,031,396	31,259,474,245	11,453,557,151
第1号基本金	142,788,710,899	140,912,240,265	1,876,470,634
第2号基本金	8,500,000,000	8,500,000,000	0
第3号基本金	100,000,000	100,000,000	0
第4号基本金	2,108,000,000	2,108,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	153,496,710,899	151,620,240,265	1,876,470,634
消費収支差額の部合計	△ 8,183,791,096	△ 10,059,452,754	1,875,661,658
負債の部、基本金の部 および消費収支差額の部合計	188,025,951,199	172,820,261,756	15,205,689,443

貸借対照表は、年度末における資産、負債、基本金および消費収支差額の状態を表示し、年度末時点での財政状態をあらわす重要な財務資料です。

